

技研公開2011より

～あなたに伝えたい、デジタル放送の未来～



NHK放送技術研究所では、5月26日（木）から29日（日）までの4日間、技研の最新の研究成果を展示する「技研公開2011」を開催しました。今年は、「あなたに伝えたい、デジタル放送の未来」というテーマで、テレビ放送の完全デジタル化の先にある未来を目指して進めているハイブリッドキャスト、スーパーハイビジョン、インテグラル立体テレビ、そして、人にやさしい放送技術などの研究成果36項目を展示しました。開催期間中、18,873人の方が来場され、技研が取り組んでいるさまざまな研究内容をご覧くださいました。

デジタル放送・放送通信連携



日本のテレビ放送がすべてデジタル化される時代を迎え、デジタル放送を支える技術、放送と通信が連携したサービスを提供するHybridcastTM*などを紹介しました。今年は、Hybridcastのプロトタイプ受信機と実現可能なサービスの例をご覧くださいました。

スーパーハイビジョン



「臨場感」、「実物感」あふれる次世代の放送方式であるスーパーハイビジョンの研究成果を紹介しました。今年は、スーパーハイビジョンの家庭での視聴イメージを体験していただくとともに、小型化を目指した撮像装置、衛星・地上放送に向けた大容量伝送技術などをご覧くださいました。

インテグラル立体テレビ



特殊な眼鏡が不要で、自然な立体映像が再生できるインテグラル立体方式の研究成果を紹介しました。今年は、スーパーハイビジョン技術を基本に更に画質を改善した表示装置および多視点映像からインテグラル立体映像を生成する技術をご覧くださいました。

高度コンテンツ制作



より魅力的なコンテンツを提供するためのコンテンツ制作技術を紹介しました。今年は、視聴者が自宅で番組を視聴しながら、視聴している番組に自分の代わりにCGキャラクターで出演できるコネクティッドスタジオや、機動的な中継を実現する映像伝送技術などをご覧くださいました。

人にやさしい放送



視聴覚に障害のある方や外国人の方を含むすべての方々に放送サービスを楽しんでいただくための技術を紹介しました。今年は、入力した日本語に対応する手話CGを自動生成する技術や、ニュースの難しい日本語をやさしい日本語に書き換えて提供するための研究などをご覧くださいました。

次世代デバイス



将来の放送サービスを実現するための次世代デバイスの研究成果を紹介しました。今年は、画素欠陥の少ないフレキシブルディスプレイ、消費電力の低いプラズマディスプレイ、定電圧で動作するシリコンマイクなどをご覧くださいました。

* Hybridcastは（財）NHK-ESの商標です。